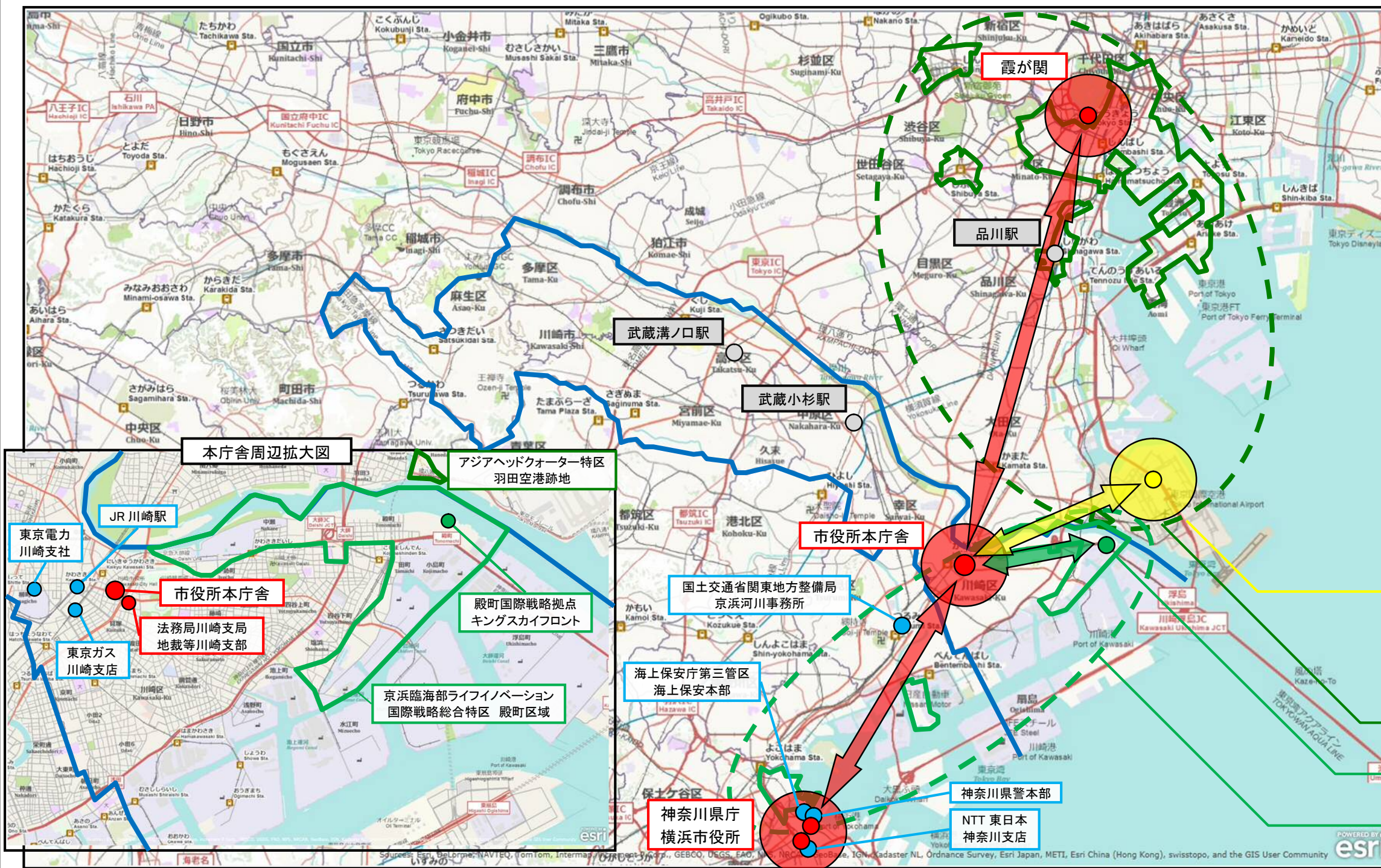


現庁舎敷地周辺の拠点性

現庁舎敷地周辺は、川崎市の中心的な「広域拠点」として都市機能の集積が進んでおり、次のような特徴を持っている。

- 法務局・裁判所などの国・県の機関が多く立地。また、鉄道及び道路の利便性が良く、神奈川県庁等との行政間連携が容易
- ライフライン事業者など関連機関が集積しており、発災時の連携が容易
- 国際化された羽田空港、東海道新幹線の停車駅である品川駅に近く、国内外との交流や連携に有利
- 京浜臨海部ライフインノベーション国際戦略総合特区やアジアヘッドクォーター特区に近く、産業拠点との連携が容易



行政間連携

- 霞が関
- 神奈川県庁
- 横浜市役所
- 法務局
- 裁判所

関連機関連携

- 海上保安庁
- 河川事務所
- 神奈川県警本部
- 東京電力
- 東京ガス
- NTT 東日本
- JR 東日本

国際拠点連携

- 羽田空港の再拡張、国際化

産業拠点連携

- 「アジアヘッドクォーター特区」
- 「殿町国際戦略拠点キングスカイフロント」
- 「京浜臨海部ライフインノベーション国際戦略総合特区」